



絆プロジェクトⅡ

～ 日常実践の充実を目指した教育活動へのチャレンジ ～

学習環境

教育課程

体力向上

外国語

キャリア

平成 29 年 9 月 1 日発行
No.10 文責 小林

教育課程

外国語の本格導入に向けてⅡ

～ 35 時間をどう生み出すのか? ～

平成 32 年度より、3、4 年生は「外国語活動」として 35 時間、5、6 年生は「外国語」として 70 時間、週時数にして 1 時間増えます。

現在、豊成小学校は、基本的に週 29 時間で授業を行っているので、単純に考えると週 30 時間、毎日が 6 時間授業ということになります。しかし、各種会議や研修の時間の確保という観点から、現在の日課表で毎日 6 時間授業というのは、現実的ではありません。そこで、「教育課程チーム」では、外国語の研修に加え、より効率的に 35 時間を生み出す方法や本格導入に向けて不安に感じていること、疑問に思っていることをまとめてみました。

まず、35 時間を生み出すことのできる日課表の可能性を探ってみました。

(*ここでの「1 時間」は「45 分」をさします。)

①「毎日 6 時間授業」

▲会議や研修の時間が確保できない

②「朝学習の時間を活用」

現在、火・水・金の朝学習を外国語の時間として運用する場合、朝の会と時間を入れ替え、学習内容によって 15 分授業として活用したり、1 時間目と合わせて 60 分授業として活用したりすることができる。週 3 回で 45 分 (1 時間分) なので、今まで通り放課後の時間は確保できる。

▲朝学習として行っていた補充学習の時間がなくなる。また、朝の時間が慌ただしくなる可能性も否めない。

▲15 分で授業が成立するのか?

③「余剰時数の活用と 5 時間授業の日を 15 分延長する」

今年度の 6 年生の、余剰時数は 46 時間です。そのうちイッパツや臨時休業などに備え、最低でも 1 週間分 (29 時間) を余剰時数として確保しなければなりません。すると、外国語として運用できるのは 17 時間 (46-29=17) なので、必要な 35 時間には 18 時間足りません。そこで、会議のある日の 5 時間目を 15 分延長した場合、5 校時終了時刻は 14:25 となり、約 1 時間の会議時間は確保できます。また、今年度の 5 時間授業は 51 回なので、17 時間分を生み出すことができます。(15×51÷45=17) よって、17+17=34 で 35 時間には足りませんが、ギリギリ何とかかなりそうです。

▲15 分とはいえ、会議の時間は削減され、放課後の時間が慌ただしくなる可能性はある。

▲60 分授業と 15 分授業の組み立てが難しい。



④「②と③の複合型」

③のやり方では、どうしてもギリギリの時数となってしまいます。そこで、金曜日の朝学習を②のように活用すると、時数的には無理なく実施できる。

▲60分授業と15分授業の組み立てが難しい。

⑤「週1回7時間授業を取り入れる」

放課後の時間を今まで通り確保するためには、月曜、水曜の日課を変更しないのが一番です。また、15分授業を取り入れたモジュール型も、授業として成立するのか疑問の声があがっています。そこで、放課後の時間と授業の時間の両方を確保するための対策として7時間授業という方法があります。例えば金曜日の朝学習をカットし、中休み、昼休み、給食時間を5分ずつカットすると、午前4時間、午後3時間、下校時刻15:30の7時間授業が可能です。

▲午後3時間は辛いかな。

<7時間の例>

～ 8:15	登校
8:20～ 8:30	朝の会
8:30～ 9:15	1
9:20～10:05	2
10:05～10:20	中休み
10:20～11:05	3
11:10～11:55	4
11:55～12:35	給食
12:35～13:00	昼休み
13:00～13:45	5
13:50～14:35	6
14:40～15:25	7
15:25～15:30	帰りの会
15:30	下校

⑥「その他の対策」

☆登校時間の繰り上げ

☆学習発表会の土曜日開催（但し、振替休業なし）

☆夏休みお勉強会・冬休みお勉強会の日に1時間ずつでも授業を入れてカウントする。

<その他の疑問・心配事>

- ★総合的な学習の時間がかえればいいんだけど・・・。
- ★テストってあるのかなあ？
- ★学年で担当教科を交換するとか。（得意な教科を担当し合うことは可能なのか）
- ★ALTの回数は増えるのかな？
- ★外国語について研修をしないと。
- ★地域ボランティアなどの人材を募集できないのか？
- ★中学校の先生の協力をお願いできないか？
- ★デジタル教材、ICT機器（テレビ、プロジェクタ、投影機）等の環境整備が必要。
- ★「英語の部屋みたい」な英語にかかわるものが揃っている部屋が欲しい。

このように、32年度に向けて（移行期の来年度に向けても）考えなければならないことが山積しています。しかし、確定されていないことも多く、なかなか方向性を提示できないのが現状です。そこで、まずは、私達が欲しい情報をしっかりと集め、方向性を打ち出す材料にしたいと思います。皆さんが疑問に思うこと、聞いてみたいことがあれば、今週中に出勤簿前の封筒に入れてください。宜しくお願い致します。

お名前 _____

（9月8日まで）